

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆アジア景気の急減速回避、32カ国の石油放出が支えに 内閣府分析

・内閣府は報告書「世界経済の潮流」で、中東情勢の影響によるアジア景気の急減速は、2026年上半期の時点では避けられたと分析。日米欧など32カ国による石油備蓄の協調放出などが下支え。主要国・地域の鉱工業生産を分析。中国や韓国で石油製品生産が落ち込んだが、全体を3カ月移動平均でみると、中国、韓国のほかインドで前年を上回った。

◆地銀・信金の与信管理、金融庁が点検へ 全東信破産でリスク精査

・金融庁は今夏にも、地方銀行や信用金庫・信用組合の与信管理について調査に入る方針だ。破産したクレジットカード決済代行の全東信(大阪市)に多額の融資をしていた金融機関を中心に審査体制などを点検する。大口の貸し倒れなど同様の事案の発生を予防する狙いがある。

◆ナフサ不足のコスト高、食品スーパーの業績直撃 小売り唯一の営業減益

・ナフサ(粗製ガソリン)不足が食品スーパーの業績を揺さぶっている。小売業の2026年3～5月期決算では、業態別でスーパーだけが営業減益となった。生鮮食品や総菜に欠かせないトレーやパックの値上がりが響いた。高額消費がけん引する百貨店や人気IP(知的財産)とのコラボ商品が伸びるアパレルなどと業績面での差は広がっている。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆夏のガソリン160円、昨年より安く 旅行「海外→国内」シフト後押し

・夏の行楽シーズンが本格的に始まる。ドライブに欠かせないガソリン価格は今夏、中東情勢の悪化による原油高が補助金で緩和され昨年より安い。東京都内のガソリン販売激戦区、環八通り周辺の給油所では1リットル158～166円程度の看板が目立つ。アプリへの会員登録などで1リットル3～5円程度の割引適用の給油所が多く、実質160円程度が中心。

◆メガソーラー乱開発抑制へ環境アセス拡大 政府、政令改正を閣議決定

・政府は環境影響評価(環境アセスメント)法の政令改正を閣議決定。大規模な太陽光発電所(メガソーラー)の環境アセスの基準を発電出力3万キロワット以上から1.5万キロワット以上に引き下げて乱開発を抑制。現在は敷地が100ヘクタールほどのメガソーラーに相当する出力4万キロワット以上はアセスが必須。

◆石油の民間備蓄義務量55日分を維持 IEA方針決定まで継続

・経済産業省は石油の民間備蓄義務量について、55日分にまで引き下げている現在の措置を維持すると発表。民間備蓄義務量は通常70日分だが、3月16日から15日分の引下げを行っており、1カ月ごとに実施期間を延長している。なお、7月13日時点の民間備蓄量は95日分と義務量を大きく上回り、2月末の水準にまで回復している。

《 注目商品 》

■永大産業 ワークトップ・サイドパネルを厚10mmで統一したキッチン

・ワークトップとサイドパネルの厚みを極限まで薄くしたノイズレスなデザインのシステムキッチン「ラフィーナネオスリムエッジ」を発売。ワークトップとサイドパネルの厚みを10mmで統一し、シャープで軽やかな印象を演出。扉デザインをワークトップと揃え、一体感を表現。



■ニチベイ、調光ロールスクリーン

・フロント生地、スラット、バック生地の3層の立体生地構造により調光と眺望のコントロールを両立するロールスクリーン。1本の操作棒で安全・軽快に操作できる「スマートコード式」、高窓などの操作に便利な「サイレント電動式 RF仕様」、軽い操作感の「チェーン式」を追加。



■耐荷重4.5t、実用性+デザイン性を備えたガーデンパン

・水生活製作所は、実用性とデザイン性を両立させた立水栓用ガーデンパン「ラウンドパン 深型」を発売。外側側面はふくらみのある曲線で内側底面は排水口に向かってゆるやかに傾斜。さらに下部に立ち上がりをつけ、デザイン性・実用性・清掃性・メンテナンス性を備えた。

